

財政収支(2026年1～7月)

(1) 1～7月の歳入は前年同期比37.4%増、税収は同37.3%増。歳出は前年同期比36.6%増。
(2) 1～7月の財政収支は1兆3,209.40億リラの赤字、プライマリーバランスは4,700.73億リラの黒字。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2025年1～7月(A)	2026年1～7月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	66,954.94	91,997.42	37.4%
税収	57,212.93	78,545.82	37.3%
所得税	14,465.34	22,172.95	53.3%
法人税	5,508.71	8,360.84	51.8%
付加価値税(国内及び輸入)	17,549.72	23,582.12	34.4%
特別消費税	10,243.13	11,051.25	7.9%
その他税収	9,446.03	13,378.66	41.6%
税外収入等	9,742.01	13,451.60	38.1%
歳出(b)	76,998.34	105,206.82	36.6%
人件費	20,698.81	29,551.29	42.8%
物品及びサービスの購入	4,933.03	7,121.31	44.4%
経常移転	29,013.31	37,267.08	28.4%
資本支出	5,493.25	6,149.81	12.0%
支払利子(c)	12,460.28	17,910.13	43.7%
その他歳出	4,399.66	7,207.20	63.8%
財政収支(a-b)	▲ 10,043.40	▲ 13,209.40	▲ 31.5%
基礎的財政収支(a-(b-c))	2,416.88	4,700.73	94.5%

経常収支(2026年1～6月)

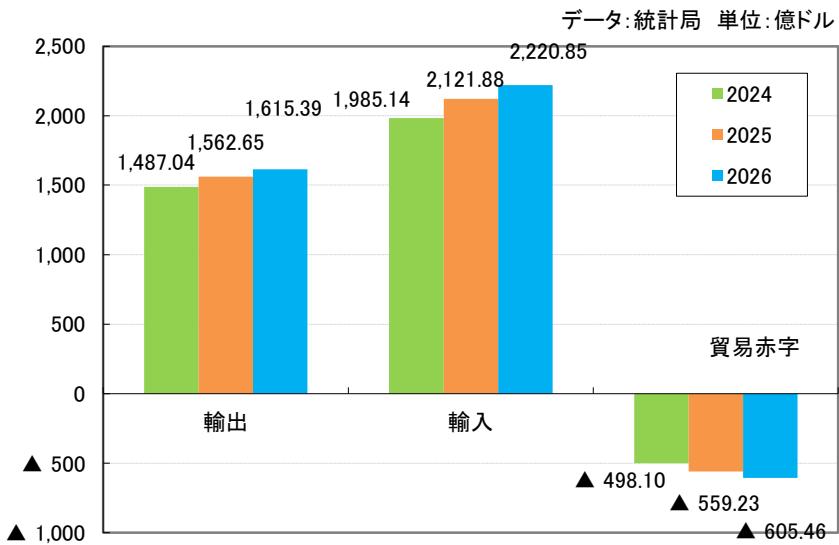
(1) 1～6月の経常収支は、345.48億ドルの赤字。
(2) 1～6月の貿易収支(物品)は437.20億ドルの赤字で前年同期から赤字幅拡大、旅行収支は191.64億ドルの黒字で前年同期から黒字幅は拡大。

データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2025年1～6月(A)	2026年1～6月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 259.98	▲ 345.48	▲ 32.9%
貿易収支(物品)	▲ 370.63	▲ 437.20	▲ 18.0%
サービス収支	235.63	238.07	1.0%
旅行収支	188.48	191.64	1.7%
第1次所得収支	▲ 121.32	▲ 128.49	▲ 5.9%
第2次所得収支	▲ 3.66	▲ 17.86	▲ 388.0%
労働者送金	0.33	0.29	▲ 12.1%
資本移転等収支	▲ 0.05	▲ 1.03	▲ 1960.0%
金融収支	▲ 262.38	▲ 493.86	▲ 88.2%
直接投資	▲ 17.09	11.18	165.4%
証券投資	40.16	11.28	▲ 71.9%
その他投資	▲ 35.65	▲ 220.52	▲ 518.6%
外貨準備	▲ 271.67	▲ 323.08	▲ 18.9%
誤差脱漏	▲ 2.35	▲ 147.35	▲ 6170.2%

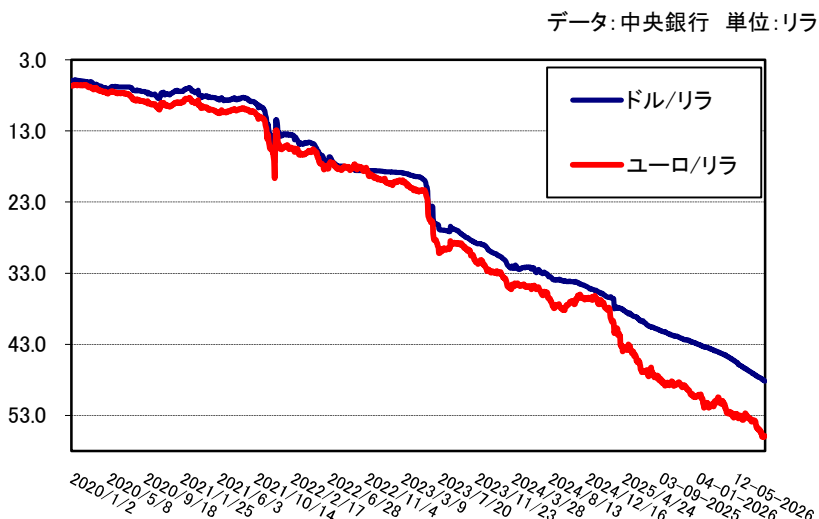
貿易収支(2026年1～7月)

(1) 1～7月の輸出額は1,615.39億ドル(前年同期比3.4%増)、輸入額は2,220.85億ドル(同4.7%増)となり、貿易収支は605.46億ドルの赤字(同8.3%赤字幅拡大)。
(2) 1～7月の輸出額におけるEU向けの割合は42.9%(前年同期:43.3%)、輸入額におけるEUからの割合は29.6%(前年同期:31.9%)となっている。



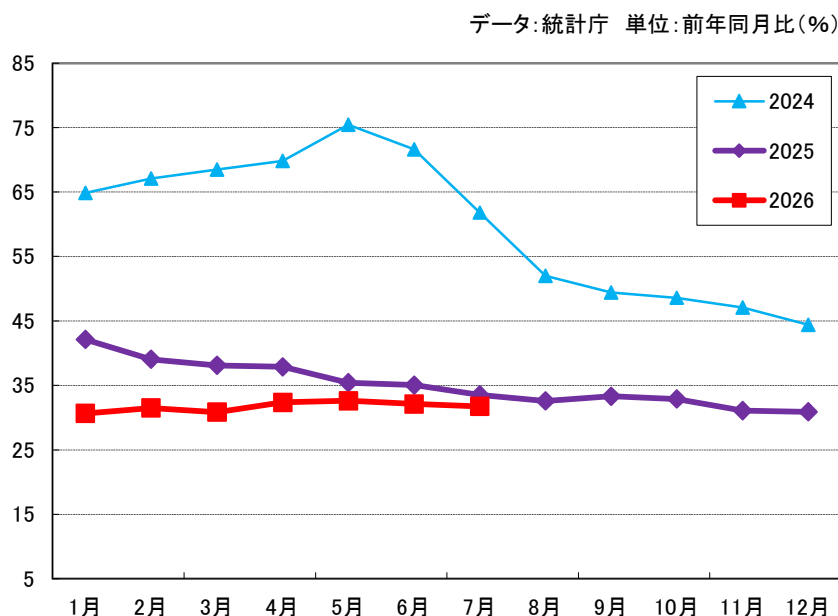
為替(2026年8月)

引き続き、中東情勢の見通し悪化等によるリラ安が進行し、リラは対ドル・ユーロ共にリラ安方向。月末時点では1ドル=48.17リラ(前月末比1.75%安)、1ユーロ=55.87リラ(前月末比2.53%安)となった。



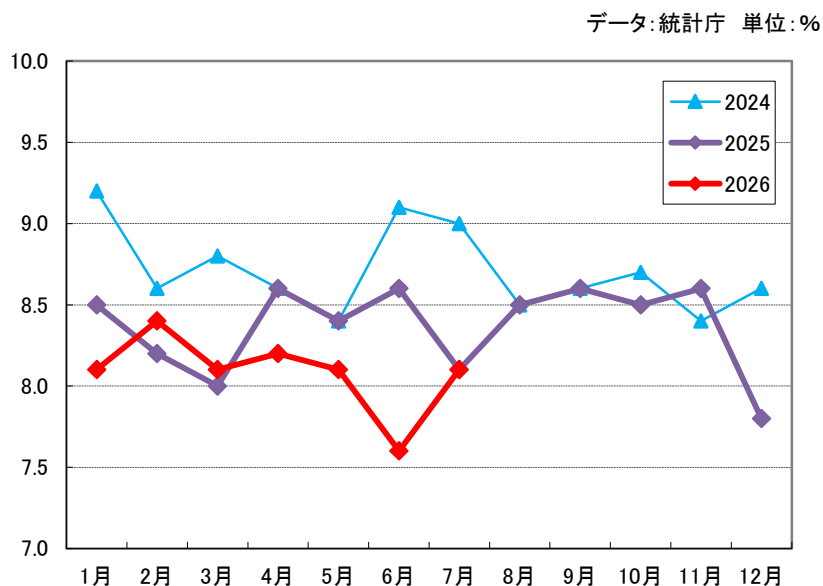
物価(2026年7月)

(1) 7月の消費者物価上昇率は前年同月比31.75%増、前月比1.78%増。
(2) 項目別にみると、前年同月比では教育が44.18%増となり最も上昇した。前月比では、保健が10.74%増となり最も上昇した。



失業率(2026年7月)

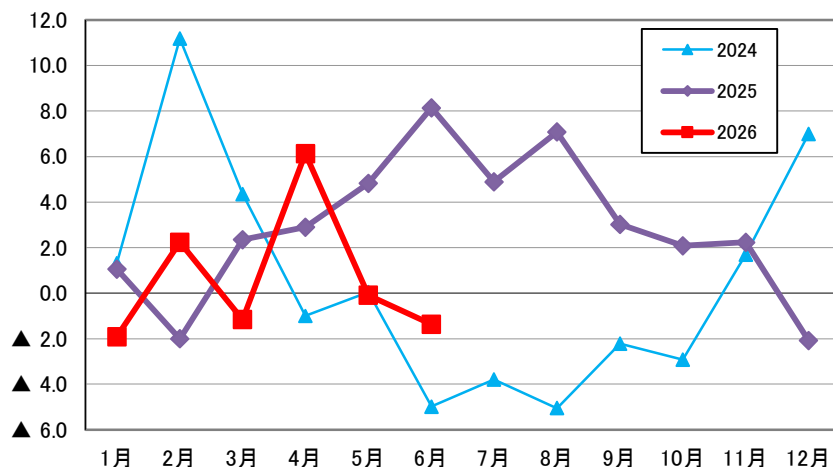
(1) 7月の失業率(季節調整後)は8.1%となり、前月から上昇。
(2) 労働力人口は3,522.2万人、就労者数は3,236.2万人、失業者数は286.0万人。
(3) 男性の失業率は6.8%、女性は10.6%。若年層(15-24歳)の失業率は14.5%。



鉱工業生産(2026年6月)

(1)6月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)1.4%減。
(2)分野別では、資本財が前年同月比4.8%減、中間財が同0.5%増、耐久消費財が同4.4%減となった。

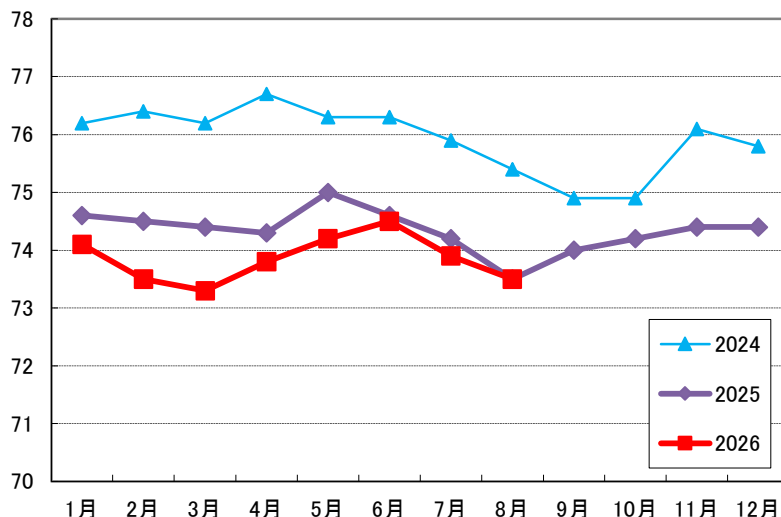
データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



設備稼働率(2026年8月)

(1)8月の設備稼働率は73.5%となり、前月から0.4ポイント低下、前年同月から変わらず。
(2)分野別では、木材・木製品製造業(83.91%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品製造業(58.05%)が最も低い稼働率であった。

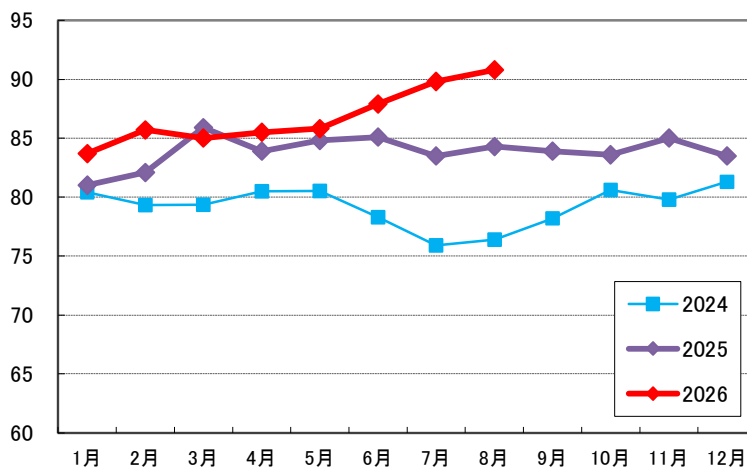
データ:中央銀行 単位:%



消費者信頼感(2026年8月)

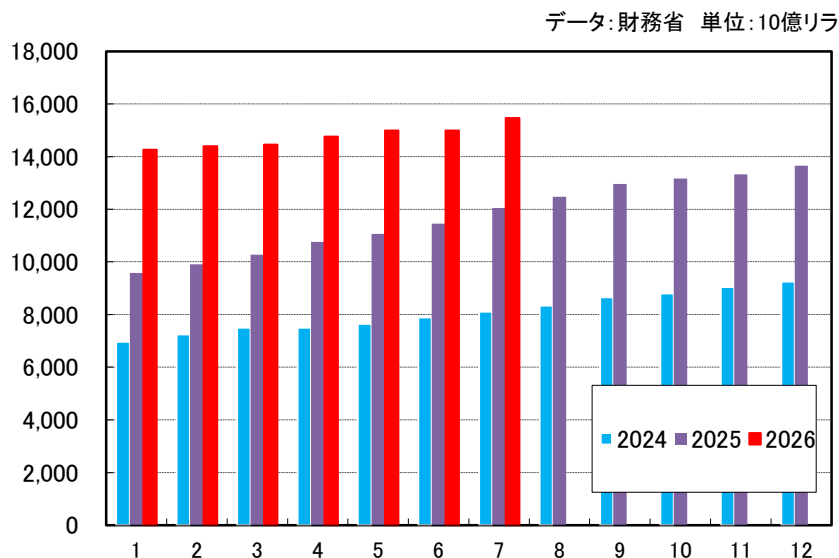
(1)8月の消費者信頼感指数(季節調整値)90.8ポイントとなり、前月から1.0ポイント上昇。
(2)内訳では、「現在の家計の財政状況」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」は前月から上昇、「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から変わらず。

データ:統計庁 単位:ポイント



中央政府債務残高(2026年7月)

(1)7月末時点での中央政府債務残高は15兆4,633億リラとなり、前年同月比28.4%増、前月比3.1%増となった。
 (2)また、国内債務比率は59.8%、自国通貨債務比率は49.0%(2025年末は46.9%)となっている。
 (3)なお、債務残高のうち円は0.4%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。



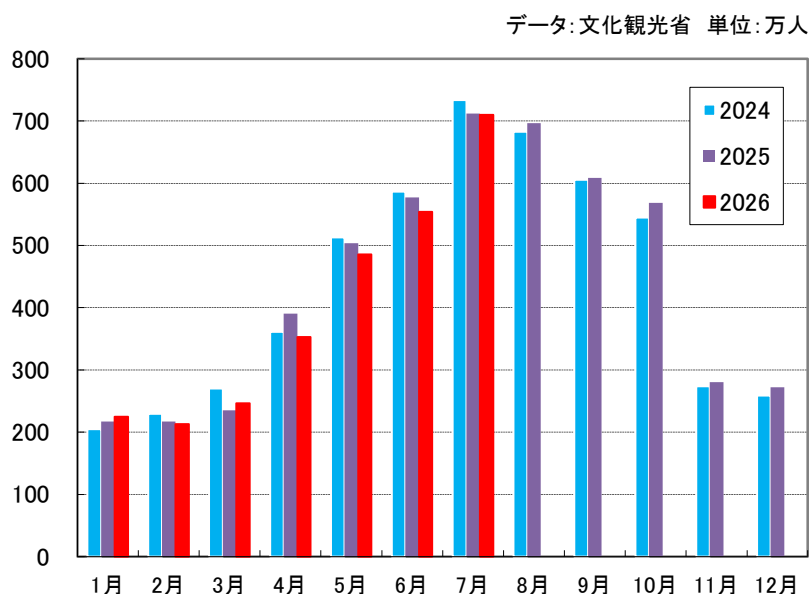
外貨準備高(2026年7月)

(1)7月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,644.5億ドルとなった。
 (2)前月から152.4億ドル増加した。



外国人訪問者数(2026年7月)

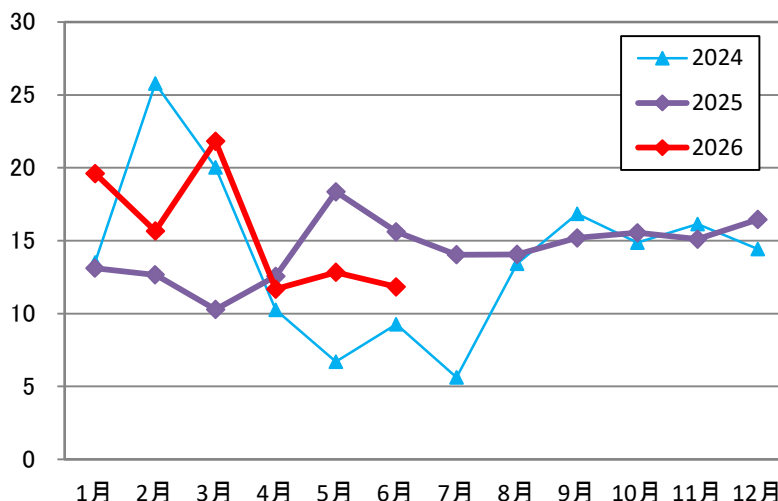
(1)7月の外国人訪問者数は7,096,564人で、前年同月比0.3%減。日本からの訪問者は8,413人であった(前年同月11,808人)。
 (2)国別ではロシアが最も多く、1,020,186人で全体の14.4%を占め、以下ドイツ(968,203人)、英国(544,077人)となっている。



小売売上高(2026年6月)

6月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)11.8%増、前月比(季節及び日数調整後)0.7%増。

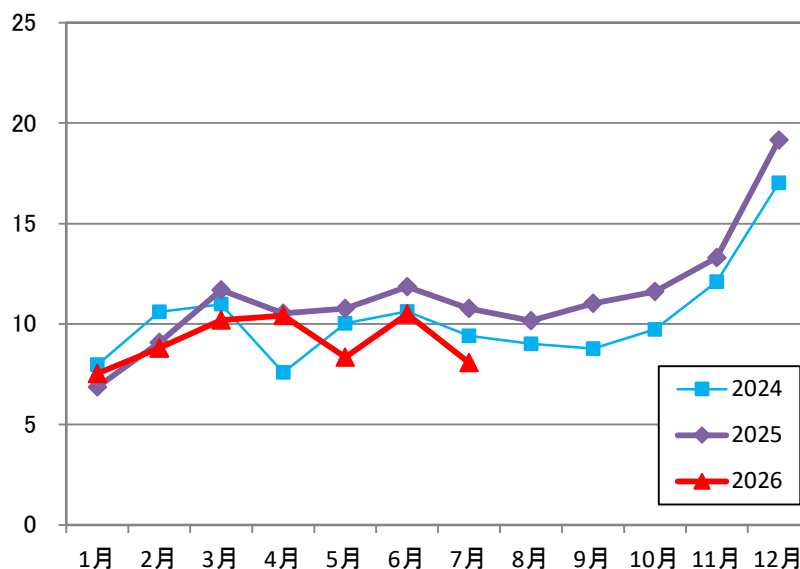
データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



新車販売台数(2026年7月)

(1)7月の新車販売台数は80,786台で前年同月比25.0%減。
 (2)7月の内訳は乗用車が62,478台(前年同月比25.8%減)、小型商用車が18,308台(同22.17%減)となった。

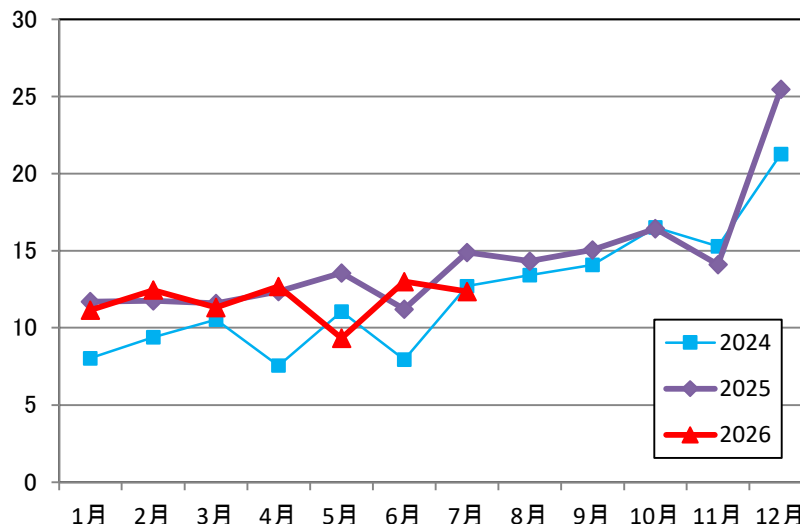
データ:自動車販売協会 単位:万台



住宅販売戸数(2026年7月)

(1)7月の住宅販売戸数は123,603戸で前年同月比17.0%減となった。
 (2)新築が42,529戸(前年同月比8.6%減)、中古が81,074戸(同20.8%減)。
 (3)住宅ローンでの購入は23,888戸(前年同月比23.7%増)、その他が99,175戸(同23.1%減)。

データ:統計庁 単位:万戸



※本資料は、当館がトルコ政府発表資料を取り纏めた参考資料であり、当館がその正確性等を保証するものではありません。